

清水孝之 しずみ たかゆき 國文學者、文學博士。大正七年十一月五日愛知縣生
 乳（一九八一）。昭和十六年東京帝國大學文學部國文學科卒。愛知縣立
 藝術大學教授。『清水孝之著作自録稿』（昭和五十四年二月二十一日
 愛知・愛知県立芸術大學國文學研究室）刊。

著書『日本文學の諸相』（合著・日本文學懇話會、昭和十七年八月二
 十日成文堂）、『蕪村の藝術』（昭和二十二年七月五日至文堂）、『蕪
 村評傳』（昭和二十二年九月二十五日京都・大八洲出版株式會社）『俳
 文學叢刊』（）、『近代句珠』（今井文男共著、昭和二十四年十一月）
 『十五日愛知・新泉書房』、『^新註新花摘』（大儀義雄共著、昭和二十八年
 一月十五日武藏野書院）、『七つ川の川から海へ』『廣島風物誌抄』（昭
 和二十一年二月十日廣島・三國書院發賣）、『中山高陽記行集』（奥澤海
 紀行）（校註、昭和二十一年六月一日高知・高知市教育委員會・公
 民課）、『朝日新聞社編』『上注日記』（解説、昭和二十四年五月）『二十五
 日朝日新聞社』『ヤサヒ写真ブックス』（）、『晚台年譜』（編、昭和二十
 七年九月一日高知女子大文學部）、『暮雨巷評・柳巷金戲』『五十五番句
 合』（續刻と解説）『（昭和四十九年二月二十一日刊）愛知県立芸術大
 學紀要』（）、『江湖藝運中』『九十六番句合』（續刻と解説）『（昭和五十
 一年二月二十一日刊）愛知県立芸術大
 學紀要』（）、『與謝蕪村集』（校註、
 昭和五十四年十一月十日新朝社）『新
 朝日本古曲集成』（）等。

